

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 第4アミスター		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 20日	～	令和7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 20日	～	令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が、スポーツレクリエーションとレクリエーションインストラクターの資格を保有しているため、レクリエーション・運動を活動の多く取り入れている。	運動遊びの基礎となる活動を取り入れることで怪我をしにくい身体の動かし方や体力づくり、全身を使った遊びで体幹を鍛えている。	活動内容を振り返り、子どもたちと一緒に検討することで楽しみながら参加できる内容を増やしていく。ルールなども一緒に考えることで子どもたちが意識できるようにしていく。
2	個別療育・小集団療育・集団療育まで、幅広く対応できる環境を整えているため、子どもたちの気持ちを尊重し、一人一人に適した支援を行うことができる。	活動の中に子どもの得意な内容と課題を設定することで、段階に合わせて達成感を味わえる環境を作っている。	子どもたちの強みを活かせる活動内容を増やしていく、達成感を感じ、目標設定が自分で行えるようにしていく。
3	野外活動・外食体験・おでかけ・散歩・畑遊びなど施設外での活動にも力を入れています。	子どもたちの「やってみたい」という発信をもとに一緒に立案・計画で実行まで繋げていくことができるようにしています。	今後も継続して「やりたいこと」を形にしていけるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会を作ることができなかった。	VIDAサロンの開催が少なかった。	事前に開催時期を告知することで保護者同士の交流の機会を増やしていく。
2			
3			